

## 令和6年度第1回 印西市市民活動推進委員会 会議要旨

1. 開催日時 令和6年4月18日（木） 午前10時～午前10時40分
2. 開催会場 印西市文化ホール 大会議室
3. 出席者 戸川和成委員長、市場勝巳委員、岡野誠委員、小林宏委員、安倉史典委員、矢野眞理委員、藤澤進委員、奥田信康委員、市川弘委員、志村はるみ委員、棚橋明委員（以上11名）
4. 事務局 市民活動推進課・伊藤課長、鈴木課長補佐、本田係長、諫見主事
5. 傍聴者 0名（定員5名）
6. 会議内容
  - 1 開会
  - 2 議題
    - （1）令和6年度の企画提案型協働事業の実施要領について
    - （2）その他
  - 3 閉会

### 7. 会議要旨

（1）令和6年度の企画提案型協働事業の実施要領について

《事務局説明》令和6年度の企画提案型協働事業要領（案）及び審査の変更案について、令和5年度第7回会議の意見に基づき、変更箇所を説明した。あわせて、事前質問としてコーディネーター派遣の詳細について説明した。

《委員質問・検討》

委員：資料1-1・19P 目標値の設定について、三者協議後に協働事業計画書に盛り込み、最終審査に臨むことで良いか。

事務局：その通りです。

委員：資料1-1・19P 目標値の記載欄について、周知方法の記載欄とは分けたほうが良いのではないか。

事務局：そのように調整します。

委員：資料1-1・24P 歳出・報償費のうち、外部講師謝礼については、何か基準を示してはどうか。

また無償労働力について、最低賃金では金額が低いのではないか。

事務局：外部講師謝礼について、市の予算としても基準は無いので示すのは難しい。また無償労働力については、表し方として最低賃金を単価として示すこととなっている。

委員：アイデア審査で概算見積書を提出し、最終審査では経費内訳書を提出することとなる。その変更点を最終審査のプレゼンテーションで明確にしてほしい。

事務局：最終審査では、当初提案から変更点をプレゼンテーションで明確に説明してもらうことになります。

委員：資料1-1・4P 指定テーマについて、この募集期間に限らず事前に募集しているのか。

事務局：前年度の3月から、募集しています。募集期間に限らず、事前交渉もしている。

委員：指定テーマの幅が狭いように感じる。できれば各部署に働きかけてほしい。

事務局：毎年、協働に係る職員 OJT を行っている。引き続き働きかけを継続していく。

委員：アイデア審査の予算の変更点について、最終審査で分かるようにしてほしい。

事務局：最終審査の際に、アイデア審査の概算見積書を参考資料としてお付けします。

委員：資料1-1・8P の指定テーマ型のフロー図について、継続提案の場合はどうするか。

事務局：フロー図は新規も継続も同一とし、継続提案に限りアイデア審査のプレゼンテーションを免除することができる記載とします。

事務局：資料1-1・9P（1）提出書類①※の部分として、実施体制を判断できる書類として、個人の場合は実施要領（案）P3 応募資格②及び⑤の確認のため、活動実績や資格、経歴を補足の審査資料として提案者に提供くださるよう依頼していく。また、団体の場合は6カ月以上の活動実績や決算書類、財務諸表、事業遂行の実績について、補足の審査資料として提案者に提供くださるよう依頼していくこととしています。その点については、昨年度に引き続き今年度も依頼していくこととしてよろしいでしょうか。

委員：了承。

## （2）その他

### 《事務局説明》

資料2に基づいて、令和6年度の市民活動推進委員会の会議スケジュールを説明した。

以上

令和6年4月18日に行われた、印西市市民活動推進委員会の会議録は事実と相違ないので、これを承認する。

令和6年5月1日

会議録署名委員 委員長 戸川 和成